

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 20日		～ 2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 2月 19日		～ 2026年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会性を意識したタイムスケジュールで管理を行っている	・ルーティンが大事な子どももいるので、毎日タイムスケジュールをホワイトボードで可視化 ・自由時間を基本的に設けてなく(～15時までは自由時間)、おやつ・学習・プログラムと切り替えを意識させたタイムスケジュールになっている。	・時間は管理しているが、決して縛られないよう子どもたちの個性を伸ばせるような施設環境を含めて声掛けなどを行っていく。
2	サービス計画を示しながら支援の説明を行っている	毎日、通っている児童全員の記録を支援計画に沿いながら入力している。 定期面談時に支援計画に沿った、日々の様子を管理者が伝え、保護者の方と意見交換をしながら次回の支援計画を作成している。 送迎時の申し送りでその日あったことを伝えている。	関わるスタッフが通っている児童の説明をしっかりとできるように、朝礼や終礼の毎日行う中で共有できるように話し合う時間を大事にしていく。
3	個人情報の取り扱い	鍵付き書庫に利用者個人のファイルを作り管理している。 ALSOKを取り付けてスタッフ不在時もセキュリティを行っている。 事務所の内側からもカギをかけられるようにしている。 児童の活動写真の提供を行っているが他児童と映っている写真ではなく単体写真として撮って保存している。	事業所及び事務所の整理整頓を心がける。 ネットワーク環境など漏洩のないようパソコン周りのセキュリティも強化していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所間だけで地域の他の児童と触れ合う機会が少ない点	ドアリーに通っている児童と他の児童と触れ合う機会の意識がなかった。	外出プログラムなど外に出る機会を作ったり、他事業所との交流事業など定期的に外に向けた事業の開催を行う。
2	保護者間交流が少ない点	事業所と保護者様の意見交換だけでなく、多角的に意見交換できる場があることで日々の悩みが少しでも軽減できるような機会が必要と考えてます。	性教育の勉強会等数名の保護者の方と意見交換をすることはありましたが、こういった意見交換会を定期的に提供できるように目指していく。 特別プログラムという保護者参加型事業もあるのでこういった機会をうまく使って意見交換を行っていく。
3	通所している児童に楽しいと感じてもらえる部分が少ない点	タイムスケジュールで管理していて、自由時間の少なさで「遊ぶ」という部分やワクワクするようなプログラムを毎回提供できていない。	社会性を意識した方針であるものの、その中でももう少し子どもたちの楽しみに寄り添った環境を作れるように、他事業所や専門家の方々に聞いたりして勉強していければと考えてます。